

科目名	精神看護学特別研究			分野・必選別・単位数	専門科目 (精神看護学)	選択必修	10単位
担当教員	◎教授 松澤和正						
課程	博士前期	配当年次	2年	配当学期	通年	授業方法	演習
授業の概要	精神看護学特論Ⅰ・Ⅱ、及び精神看護学演習での学修に基づき、一連の研究プロセス(研究テーマの明確化、文献検討、研究計画書の作成、倫理委員会審査、研究フィールド等の開拓、データ収集と分析・考察、中間発表、最終報告等)を総合的に実践することにより、看護研究能力を高めつつ、学術的に意義のある修士論文を作成する。						
授業の到達目標	研究テーマの明確化、文献検討、研究計画書の作成、倫理委員会審査、研究フィールド等の開拓、データ収集と分析・考察、中間報告、最終報告等を総合的に実践することにより、学術的に意義のある修士論文を作成できる。						
授業計画	回数	担当者	行動目標				
	<p>【行動目標】 最終的に明確化した研究テーマに沿って、文献検討、研究計画書の作成、倫理委員会審査、研究フィールド等の開拓、データ収集と分析・考察、中間報告、最終報告等、の研究プロセスを総合的に実践し、学術的に意義のある修士論文を作成できる。</p> <p>【研究テーマ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神科領域の臨床看護研究一般(特に「研究的臨床実践」に関する研究等) ・精神看護の臨床民族誌的研究 ・看護思想史に関する研究、等。 						
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	研究プロセスにおけるそれぞれの諸課題について十分な事前準備を行うこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に150時間以上の予復習が必要。					
教科書	必要時適宜指示する。						
参考書	必要時適宜指示する。						
成績評価の方法および基準	計画書発表30%、中間発表20%、課題20%、口頭試問30%で評価する。						
その他履修上の注意事項	履修前提条件:1年次に倫理教育「eLCoRE」を受講し、修了していること。 試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行うので有効に活用すること。 この科目は、本専攻の学位授与方針4と関連していることに留意し授業に取り組むこと。						